

第 34 回日本脳神経超音波学会総会(34JAN2015)

開催と演題募集のご案内(第 3 報)

ご挨拶



第 34 回日本脳神経超音波学会総会(34JAN2015)

会長 塩貝敏之

(恵心会 京都武田病院 脳神経科学診療科)

この度、第 34 回日本脳神経超音波学会総会(34JAN2015)を、平成 27(2015)年 6 月 4 日(木)―6 日(土)に、京都で開催させて頂くことになりました。京都での開催は、平成 2 年の菊池晴彦先生が主催された第 9 回に続いて 2 度目になります。

少し本学会の歴史を紐解いてみますと、昭和 56(1981)年 12 月 5 日に、日本脳・神経超音波研究会として設立されましたが、平成 9(1997)年には日本脳神経超音波学会となり、さらには平成 24(2012)年 7 月 2 日に、一般社団法人化を済ませています。平成 15 年度からはコメディカルスタッフも正会員として学会の発展および技術面での啓発活動に協力して頂くこととなり、平成 21 年度より医師・コメディカルスタッフ対象の、認定脳神経超音波検査士制度が発足したことも関連してか、現在会員数 800 名を超え、この領域では世界最多の会員数を有する団体となっております。また、世界神経学会議の脳神経超音波研究グループ(The Neurosonology Research Group of the World Federation of Neurology, NSRG)には、歴代顧問、会長、秘書など常に 2-3 人の代表を送り出している状況であります。このような、歴史ある学会のお世話をさせて頂くことが出来、大変光栄に感じております共に、身の引き締まる思いをいたしております。

私どもの担当させて頂く今会は、平成 27(2015)年 6 月 5 日(金)、6 日(土)に会場を交通至便な京都駅に近い京都テルサ(京都府民総合交流プラザ <http://www.kyoto-terra.or.jp/>)として、また前日の 6 月 4 日(木)には、京都駅隣接の「新・都ホテル」(www.miyakohotels.ne.jp/newmiyako/)にて、「脳血管反応性」をテーマにしたプレイブニングセミナーも開催予定でおります。総合テーマは、「脳神経超音波の探求と未来への懸け橋」として、現在の脳神経超音波の最前線のみならず今後の方向性を占うことを目指して、海外招聘・特別・教育講演、5 つのシンポジウム、ランチョンセミナーを企画致しました。また最近の本学会のコメディカル会員の増加を鑑み、認定脳神経超音波検査士資格とコメディカルに関するワークショップ、更に 6 月 5 日(金)には京滋血管診療フォーラムとの合同開催でのイブニングシンポジウムを、更に 6 月 6 日(土)にはコメディカルの方々と共に歩んできた京都脳神経・脈管超音波研究会 <http://kyotonvuss.sakura.ne.jp/>との合同開催で、第 27 回京都脳神経・脈管超音波セミナーを予定し、脳神経・脈管系の超音波のライブデモとハンズオンセミナーを予定しております。また、6 月 5 日(金)には京滋血管診療フォーラムとの合同懇親会を、ホテルグランヴィア京都 <http://www.granvia-kyoto.co.jp/>にて開催予定で、会員の皆様に楽しいひと時を過ごして頂けるよう、企画を進めております。

丁度、開催させて頂きたく 6 月初めの京都は、四季折々の風情のある古都京都の中でも、観光客でごった返す時期から少し離れて、蒸し返す夏にはまだ少し早く、学問のみならず新旧の友と親交を深めるのには良い時期かと思っております。つきましては、皆様方より多くの演題のご応募と、本学会へのご参加を、関係者一同心よりお待ち申し上げます。

開催概要(ホームページ:<http://jan2015.umin.jp>)

I. 会期:平成 27 (2015) 年 6 月 4 日(木), 5 日(金), 6 日(土)

II. 会場:

➤ 新・都ホテル:6 月 4 日(木)

〒601-8412 京都市南区西九条院町17

TEL: 075-661-7111(代表), FAX: 075-661-7135

(<http://www.miyakohotels.ne.jp/newmiyako/>)

➤ 京都テルサ(京都府民総合交流プラザ):5 日(金), 6 日(土)

〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町 70(新町通九条下る)

TEL: 075-692-3400, FAX: 075-692-3402

(<http://www.kyoto-terrsa.or.jp/>)

III. 総合テーマ「脳神経超音波の探求と未来への懸け橋」

IV. 役員

顧問

中島 健二 京都府立医科大学 名誉教授

会長

塩貝 敏之 恵心会 京都武田病院 脳神経科学診療科

副会長

中川 正法 京都府立医科大学附属北部医療センター

京都府立医科大学大学院医学研究科 医療フロンティア展開学

実行委員

水野 敏樹 京都府立医科大学大学院医学研究科 神経内科学(委員長)

笠井 高士 京都府立医科大学大学院医学研究科 神経内科学(幹事)

鮎川 宏之 医仁会武田総合病院 検査科

尾原 知行 京都府立医科大学大学院医学研究科 神経内科学

久保田 義則 北播磨総合医療センター 中央検査室

坂口 学 大阪大学医学部附属病院脳卒中センター 神経内科・脳卒中科

佐藤 洋 関西電力病院 臨床検査部

永金 義成 京都第二赤十字病院 脳神経内科

長東 一行 国立循環器病研究センター 脳神経内科

濱口 浩敏 北播磨総合医療センター 神経内科

牧野 雅弘 公立南丹病院 脳神経内科

松尾 汎 松尾クリニック

山上 宏 国立循環器病研究センター 脳神経内科

プログラム・実行委員

井口 保之 東京慈恵会医科大学 神経内科

立花 克郎 福岡大学医学部 解剖学

榛沢 和彦 新潟大学大学院 呼吸循環外科

平野 照之 杏林大学医学部 脳卒中医学

矢坂 正弘 国立病院機構 九州医療センター 脳血管・神経内科

(五十音順, 敬称略)

V. プログラム(予定)

1) 特別講演・教育講演(予定)

- Graham-Michael von Reutern (Bad Nauheim, Germany): Grading carotid stenosis using ultrasonic methods (仮題)
- Uwe Walter (Rostok, Germany): Early diagnosis of degenerative diseases utilizing transcranial ultrasound (仮題)

2) シンポジウム

① 「脳神経超音波による末梢神経疾患診断と電気生理学的検査」

- モデレータ: 濱口浩敏(北播磨総合医療センター 神経内科)
- 共催: 帝人ファーマ株式会社
- パネリストと演題(予定):
 1. 基調講演: 関口兼司(神戸大学 神経内科): 末梢神経疾患診断における電気生理学的検査
 2. 西山和利(北里大学 神経内科): 末梢神経障害診断における神経超音波検査総論
 3. 塚本 浩(帝京大学 神経内科): 手根管症候群, 肘部尺骨神経障害における神経超音波検査の役割
 4. 越智一秀(広島大学 脳神経内科): CIDP 診断における神経超音波検査の役割
 5. 高松直子(徳島大学 神経内科): ALS の診断における超音波検査の有用性

② 「周術期超音波モニタリングの最前線」

- モデレータ: 榛沢和彦(新潟大学大学院 呼吸循環外科), 山上宏(国立循環器病研究センター 脳神経内科), 坂口 学(大阪大学医学部附属病院脳卒中センター 神経内科・脳卒中科)
- パネリストと演題(予定)
 1. 基調講演: 榛沢和彦(新潟大学大学院 呼吸循環外科): 未定
 2. 坂口 学(大阪大学医学部附属病院脳卒中センター 神経内科・脳卒中科): CAS, CEA 時の TCD モニタリング
 3. 石田和慶(山口大学 麻酔科蘇生科): 脳障害を軽減するための心臓大血管手術中のモニタリング
 4. 貞廣浩和(健和会大手町病院 脳神経外科): 脳神経外科術中超音波診断の有用性と限界
 5. 高木健督(新東京病院 心臓内科): TAVI 中のモニタリング
コメント: 山上 宏(国立循環器病研究センター 脳神経内科)

③ 「脳塞栓症の塞栓源検索における超音波検査の有用性と限界」

- モデレータ: 矢坂正弘(国立病院機構 九州医療センター 脳血管・神経内科)
- パネリストと演題(予定):
 1. 基調講演: 奥山裕司(大阪大学 循環器内科): 心房細動の検出と評

価値 心エコーと心電図の役割

2. 古賀政利(国立循環器病研究センター 脳卒中集中治療科):経食道心エコー検査(TEE)による塞栓源検索
3. 小谷敦志(近畿大学 心臓血管外科):塞栓症診断における経胸壁心エコー検査の役割
4. 緒方利安(福岡大学 神経内科):脳梗塞における頸部血管エコー検査の有用性と限界(仮題)
5. 井口保之(東京慈恵会医科大学 神経内科):超音波を用いた栓子検出の臨床応用
6. 佐藤 洋(関西電力病院 臨床検査部):下肢静脈エコー(仮題)

④「頸動脈 plaque 性状診断における脳神経超音波の信頼性-各種モデレーターとの比較から」

- モデレーター:長束一行(国立循環器病研究センター 脳神経内科)
 - パネリストと演題(予定)
1. 基調講演:長束一行(国立循環器病研究センター 脳神経内科):頸動脈エコーでどこまで分かるか?
 2. 山田博胤, 坂東美佳, 佐田政隆(徳島大学循環器内科):超音波後方散乱信号を用いた頸動脈プラークの性状診断とその臨床応用
 3. 大庭英樹(岩手医科大学 神経内科):頸動脈 Plaque 性状診断:複合的アプローチ
 4. 松本典子(川崎医科大学 脳卒中医学):頸部血管エコーによる頸動脈病変の評価(仮題)
 5. 斎藤こずえ(国立循環器病研究センター 脳神経内科):エコーによるプラーク性状評価-エコーで病理像に迫る-(仮題)

⑤「脳神経超音波への超音波治療応用の進歩」

- モデレーター:立花克郎(福岡大学医学部 解剖学), 井口保之(東京慈恵会医科大学 神経内科)
- パネリストと演題(予定)

a) 基礎的アプローチ

1. 工藤信樹(北海道大学 工学部):超音波照射下でのバブルと細胞の超高速動画撮影(仮題)
2. 近藤 隆(富山大学医学部 基礎放射線講座):超音波の生体作用と治療応用-細胞死から遺伝子応答まで-
3. 梅村晋一郎(東北大学 工学部):最新の集束超音波治療技術とその脳神経分野における展開

b) 臨床的アプローチ

4. 立花克郎(福岡大学医学部):強力集束超音波の臨床応用
5. 古賀政利(国立循環器病研究センター 脳卒中集中治療科):超音波を用いた血栓破碎療法-過去, 現在, 未来-
6. 横山昌幸(東京慈恵会医科大学 ME 研究室):薬物超音波併用次世代普及型低侵襲治療装置の開発から得た新たな知見(仮題)

3) ワークショップ 「一般社団法人 日本脳神経超音波学会 認定脳神経超音波

検査士資格(JAN 資格)の展望とコメディカル」

➤ モデレータ:久保田義則(北播磨総合医療センター 中央検査室)

➤ パネリストと演題(予定):

- ① 佐藤 洋(関西電力病院 臨床検査部):様々な認定資格と JAN 資格
- ② 大徳尚司(鹿児島厚生連病院):JAN 資格の魅力～放射線技師の立場から～
- ③ 大西秀典(富山赤十字病院 検査部): JAN 資格取得による意識・環境の変化
- ④ 山本多美(済生会熊本病院 中央検査部):JAN 資格取得による意識・環境の変化
- ⑤ 藤代健太郎(東邦大学医学部 教育開発室):資格認定委員会からの提言(仮題)

4) 6月4日(木) プレイブニングセミナー(予定) (会場 新・都ホテル)

テーマ「脳血管反応性」

1. Matthias Reinhard (University of Freiburg):Dynamic Autoregulation (仮題)
2. 平野照之(杏林大学医学部 脳卒中医学):脳血管反応性と脳循環予備能:PET から MR へ(仮題)(共催:大日本住友製薬株式会社)

5) 6月5日(金) 合同開催:第14回京滋血管診療フォーラム

(共催:大塚製薬株式会社)

➤ イブニングシンポジウム「頸動脈エコー標準化案作成の意義——スクリーニングから精査:どう撮り、どう活かすか？」

➤ モデレータ:松尾 汎(松尾クリニック)

➤ プログラム(予定)

開会挨拶:塩貝敏之(恵心会 京都武田病院 脳神経科学診療科)

パート1 座長: 山本康正(京都桂病院 脳神経内科)

1. 石津智子(筑波大 臨床検査医学):IMT 計測の標準化
2. 長束一行(国立循環器病研究センター 脳神経内科):プラーク(仮題)

3. 古井英介(広南病院 脳血管内科):狭窄の評価(仮題)

パート2 座長:米田智也(京都大学医学部附属病院 検査部)

1. 小谷敦志(近畿大学医学部 心臓血管外科):ドプラ法(仮題)
2. 尾崎俊也(OBPクリニック):検査・計測のポイント(仮題)

3. 濱口浩敏(北播磨総合医療センター 神経内科):頸動脈エコー標準化案作成の意義—臨床的意義を検証する

パート3 ディスカッション 座長:松尾 汎(松尾クリニック)

閉会挨拶:松尾 汎(松尾クリニック)

6) 6月6日(土) 合同開催:第27回京都脳神経・脈管超音波セミナー

(共催:サノフィ株式会社)

➤ モデレータ:濱口浩敏(北播磨総合医療センター 神経内科)
鮎川宏之(医仁会武田総合病院 検査科)

a) レクチャー&ライブ・デモンストレーション(予定)

➤ Graham-Michael von Reutern (Bad Nauheim, Germany):International

Neurosonology Certification (仮題)

- 頸部血管エコー, 経頭蓋エコー, 下肢静脈エコー
- b) ランチョンセミナー(共催 東芝メディカルシステムズ株式会社)
- c) ハンズオンセミナー
 - ハンズオンコース(下肢動脈, 下肢静脈エコー, 頸部血管エコー, TC-CFI, 腎動脈エコー, 神経・筋エコー)
 - ハンズオンセミナーの申し込み(事前予約制)
京都脳神経・脈管超音波研究会のホームページ
<http://kyotonvuss.sakura.ne.jp/> から申し込み頂く予定です. 人数制限がありますので, ご注意ください.

VI. 演題募集要項

➤ 応募資格:

① 発表者は, 会員に限ります. 共同演者は, その限りにありません. 未入会の方は, 一般社団法人 日本脳神経超音波学会事務局にて, 入会手続きをお取りください. 入会は, 一般社団法人 日本脳神経超音波学会 <http://neurosonology.jp/> ホームページからも可能です. また, 当日入会も受け付けます. プログラム・抄録集は, 会員に送付されます.

② 入会のお問い合わせ:

一般社団法人 日本脳神経超音波学会事務局

国立循環器病研究センター 脳神経内科

<http://neurosonology.jp/>

<事務局(代行)> アカデミック・スクエア(株)内

〒612-8082 京都市伏見区両替町 2-348-302

TEL: 075-468-8772, FAX: 075-468-8773, jan@ac-square.co.jp

- **発表形式:** シンポジウム・ワークショップの関連演題, 脳神経超音波に関する一般演題を募集いたします. 検査技師などのコメディカルの方のセッションも予定しておりますので, 奮ってご応募ください. なお, シンポジウム・ワークショップの関連演題は, シンポジウム・ワークショップの演題として採用される場合があります.

- **演題受付:** 第 34 回日本脳神経超音波学会総会(34JAN2015)ホームページ

<http://jan2015.umin.jp> から, UMIN オンライン演題登録システムを利用したインターネットからの登録のみとし, 郵送などでは受け付けません.

- **演題募集期間:平成 27 年 1 月 8 日(木)-2 月 27 日(金)**

- **発表区分:**

1), 2) a)-e)のカテゴリーから夫々1 つずつ選択してください.

演題カテゴリー

1) シンポジウム・ワークショップ・イブニングシンポジウム関連演題

- ① 「脳神経超音波による末梢神経疾患診断と電気生理学的検査」
- ② 「周術期超音波モニタリングの最前線」
- ③ 「脳塞栓症の塞栓源検索における超音波検査の有用性と限界」

- ④ 「頸動脈 plaque 性状診断における脳神経超音波の信頼性-各種モダリティとの比較から」
- ⑤ 「脳神経超音波への超音波治療応用の進歩」
- ⑥ 「認定脳神経超音波検査士資格(JAN 資格)の展望とコメディカル」
- ⑦ 「頸動脈エコー標準化案作成の意義---スクリーニングから精査:どう撮り、どう活かすか?」

2) 一般演題

a) Modality

- ① 経頭蓋超音波検査(B-mode, TCD, TC-CFI or カラー Doppler)
- ② HITS/MES モニタリング
- ③ 頸部超音波検査(B-mode, カラー Doppler)
- ④ 経胸壁(TTE)・経食道心エコー(TEE)
- ⑤ 下肢静脈エコー
- ⑥ その他の血管エコー
- ⑦ 神経・筋エコー
- ⑧ 血管内エコー
- ⑨ 超音波を用いた新技術や imaging
- ⑩ 超音波造影剤
- ⑪ その他

b) 疾患

- ① 検診, 脳ドック, 脳卒中一次・二次予防など
- ② 疫学(動脈硬化, 高血圧, 糖尿病, 脂質異常症など)
- ③ 脳梗塞急性期・慢性期
- ④ 脳塞栓症(心原性, 大動脈源性, 奇異性など)と塞栓源検索
- ⑤ 出血性脳血管障害(くも膜下出血, 脳動脈瘤, 脳動静脈脈奇形, モヤモヤ病など)
- ⑥ 脳腫瘍など
- ⑦ 変性性疾患(パーキンソン病など)
- ⑧ 脊髄・末梢神経・筋疾患
- ⑨ 小児・胎児・奇形性疾患(水頭症など)
- ⑩ 頭部外傷
- ⑪ その他

c) 治療関連

- ① 血栓溶解(超音波, t-PA)
- ② CEA, 血行再建
- ③ インターベンション(ステント, 血栓破砕など)
- ④ 集中治療(SCU/ICU など), 周術期モニタリング
- ⑤ 超音波手術・機器
- ⑥ その他

d) 検査手技, 記録法

e) 基礎研究, 実験

➤ 演題登録方法

- 1) 演題登録は、UMIN オンライン演題登録システムを利用したインターネットからの登録のみと致します。
 - 2) UMIN オンライン演題登録システムは、【Internet Explorer】【Safari】【Firefox】【Google Chrome】で動作確認を行っております。それ以外のブラウザはご利用にならないようお願いいたします。なお、Safari におきましては、ver.2.0.3(417.9.2)以降のバージョンでご利用可能です。
 - 3) 入力項目は以下の通りです。
 - ① 発表プログラム
 - ② 演題カテゴリ
 - ③ 職種
 - ④ 演者氏名:共同演者 10 名以内
 - ⑤ 所属機関:10 施設以内
 - ⑥ 連絡先:TEL, FAX, E-mail(携帯のアドレスは不可)
 - ⑦ 和文演題名:和文全角 80 文字以内
 - ⑧ 英文演題名:英文半角 100 字以内(スペース含む)
 - ⑨ 抄録本文:和文全角 800 字以内または英文半角 1440 字以内(スペース含む)
 - ⑩ Key words: 英文で 3 つ以内
✓ 演題文字数, 抄録文字数を超えると入力できません。
 - 4) 演題登録時、ご自身でパスワード(半角英数 6-8 文字)を設定して頂きます。演題登録番号は、自動で発行されます。演題登録番号とパスワードにて、登録期間中は、何度でも内容の修正・変更が可能です。
 - 5) セキュリティの関係から、演題登録番号とパスワードに関するお問い合わせには、一切応じることは出来ません。必ず、ご自身で演題登録番号とパスワードをお控えください。
 - 6) 演題を登録・修正・削除されますと、自動的に登録された E-mail 宛に、内容が自動送信されます。必ず入力した内容をご確認ください。この登録内容確認をもって受領通知となります。なお、登録作業後 1 日が経っても受領通知メールが届かない場合は、登録が完了していない場合があります。確認修正画面で、登録メールアドレスを確認後、誤りがなければ、演題応募の締め切りまでに、運営事務局 gakkai@doc-japan.com まで、お問い合わせください。
 - 7) 発表形式は、全て口演となります。
 - 8) 演題採否、演題区分の決定は会長に一任ください。演題採否に関しましては、登録者本人に E-mail にてご連絡いたします。
- **演題応募に関するお問い合わせ:** 下記学会運営事務局へお願いいたします。
- 第 34 回日本脳神経超音波学会総会(34JAN2015)**
運営事務局 中村 泰明
株式会社 ドウ・コンベンション内
〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町 2-23 アクセスお茶の水ビル 5F
TEL: 03-5289-7717, FAX: 03-5289-8117
<http://jan2015.umin.jp>
E-mail: gakkai@doc-japan.com

VII. 生涯教育関連資格更新クレジット

	学会名・資格名	更新点数(単位)	方法
第34回日本脳神経超音波学会総会(34JAN2015) 6月4日(木)~6月6日(土)	日本脳卒中学会 専門医更新クレジット	5点	学会出席
	日本超音波医学会 認定超音波専門医 資格更新	5単位	学会出席
		+5単位	+発表
		+2.5単位	+共同演者
	日本脳神経外科学会 生涯教育クレジット	5点	学会出席
	日本神経学会専門医 認定更新クレジット	2点	学会出席
日本脳神経超音波学会 「認定脳神経超音波検査士」 資格更新クレジット	10単位	学会出席	
	10単位	発表(発表者のみ)	
イブニングシンポジウム 第14回京滋血管診療フォーラム 6月5日(金)	日本血管外科学会・日本脈管 学会・日本静脈学会・日本動 脈硬化学会 血管診療技師認定機構にお けるCVT(血管診療技師) 資格更新クレジット	3単位	出席
第27回京都脳神経・脈管超音波セミナー 6月6日(土)	日本脳神経超音波学会 「認定脳神経超音波検査士」 資格更新クレジット	5単位	ハンズオンセミナー参加
	日本超音波医学会 認定超音波検査士 資格更新クレジット	5単位	出席
		5単位	発表
	日本血管外科学会・日本脈管 学会・日本静脈学会・日本動 脈硬化学会 血管診療技師認定機構にお けるCVT(血管診療技師) 資格更新クレジット	4単位予定	講義・ライブデモ出席
		5単位予定	+ハンズオンセミナー参加

VIII. ランチョンセミナー:5日(金), 6日(土)

IX. 機器展示:5日(金), 6日(土)

X. 第14回京滋血管診療フォーラムとの合同懇親会:5日(金) ホテルグランヴィア京都
<http://www.granvia-kyoto.co.jp/>

主催:第34回日本脳神経超音波学会総会(34JAN2015)

事務局:〒600-8884 京都市下京区西七条南衣田町11

恵心会 京都武田病院 脳神経科学診療科

TEL: 075-312-7001(代), TEL/FAX: 075-325-2295(直通)

<http://jan2015.umin.jp>

E-mail: 34JAN2015@gmail.com